



多様性の中で“生きる”こと

115年にわたるグローバル教育と女子教育の根幹にあるもの



実践女子学園中学校高等学校

「にほへやしまの外までも」。
創立者である下田歌子は「日本だけではなく、世界を舞台に活躍してほしい」との願いを校歌の一節に込めた。嶋野恵子校長は言う。「グローバル教育と女性の活躍について、近年では大きく論じられていますが、本校では115年前から取り組んでいることです」と。
「品格 高雅 自立 自営」の建学の精神の下、女性としての特性と品位を身につけながら、社会的に自立し活躍できる人を育てている。



礼法の授業



2014年5月高校模擬国連国際大会_NY国連本会議場にて



高校生英語スピーチコンテスト

「世界へ踏み出すきっかけをもらった」。こう話すのは、5月にニューヨークで開催された高校模擬国連国際大会に出場した大塚麻友さん、村井亜里紗さん(高3)。模擬国連とは、参加者が国連加盟国の大使に扮し国際問題を討議するもの。同校では3年連続で全日本大会において優秀賞を受賞し、国際大会へ出場している。兩名は、「初めは関心があったわけではないのですが、先生に勧められ、全日本大会を見学しました。そうしたら、日本にこんなレベルの高い高校生がこんなにたくさんいるんだと驚き、自分もその中の一人になりたいと思いました。国際大会では、クウェート大使として、北極圏の保護について論じた。石油産出国として、どう向き合うのか矛盾との闘いでした」。準備段階では、クウェートだけでなく中東諸国、また北極圏周辺の欧州諸国についてもリサーチを重ね、戦略を練り上げた。「全日本大会では非公式の話、と合いが主流でしたが、国際大会ではオープンに平等に協議が進んでいきました。その中で、私たちにのみならず引張っていくリーダーシップが欠けていた。賞を取れなかったのは悔しいけれど、納得しています。この経験を通じて、自分が目指す国際人も見えた気がしますし、将来、世界で活躍する人材になりたいと強く思いました。そして、私たちが得たものは後輩たちにも伝えたいと思います。これが実践女子学園なのである。

世界への第一歩



「進路は？」と尋ねると、スタンダード実践クラス(SJC)の生徒は「海外大学を目指します。学びたいことが4分野あって、どうしようかと悩んでいた時に、グローバルスタディーズクラス(GSC)の友達に相談したら「それなら、海外に全部学べる学校があるよ」と。目からうろこでした。海外大学なんて思いもつかなかったから」と話した。GSCの生徒には「英語力は上がった？」と聞いてみた。すると「私は帰国生ですが、確かに伸びたと思います。GSCでは、高一時に3カ月間のオーストラリア留学に行きます。普段の授業に加えて、この経験は大きいと思います。帰国生入試でなく一般入試で入った子が、グンと伸びたのが私にもわかりました。だから、負けられないな」と。

生徒数が多いことがプラスに働いていると嶋野恵子校長は話す。「いろいろな個性を持った生徒があり、また、8人に1人が帰国生。学校の中に多様性が生まれています。多様性の中で『生きる』ことがグローバル社会への第一歩です。私学は『志』学。創始者の思いが115年間受け継がれているのです。しかし、変わらないことが伝統ではありません。建学の精神を社会の変容に即した形で表していくことが大事。同校では『3プラス1』の教育体制を構築。キャリア教育、感性表現教育、国際交流教育の3つと学力を融合させ、社会に貢献するための人間力を培っている。加えて、種をまくことが大事。彼女たちはこれと決めたら、一人ひとりがいろいろな花を咲かせます。そして、新たな種をまいてくれる」

互いに切磋琢磨する

「間もなく開会いたしますので、静かにしてください」。司会進行役の生徒が流暢な英語でそう告げると、ざわついていた場内に一瞬で静寂が訪れた。高校生英語スピーチコンテストのことである。登壇する生徒のスピーチ力、立ち振る舞い、聞き入る姿に感心を覚えていると、幕間を迎えた。そこで、一人の生徒に声をかけ、取材に来た旨を伝えると、「ご来校いただきましてありがとうございます。では、概要から説明しますね」と。クラスごとに予選が行われ、生徒と先生による評価で本選出場者が決定すること。クラス予選で選ばれなくても、英語が好きで努力している子たちが、本選に向けて再度チャレンジできる枠が設けられていること。スピーチのテーマは自由なので、個性的な子が多いこの学校では、テーマが多岐に渡っていること。こちらの意図をくんで、理路整然と話す彼女にほれほれしてしまった。コンテスト終了後、優勝者にインタビューしていると、先輩や同級生から「おめでとう」「よかったよ」「がんばったね」と惜しみない賛辞が送られた。その光景を見ながら、今春卒業した生徒たちの言葉を思い出した。



中3キャリア教育：スペシャリストに学ぶ



中1キャリア教育(自分史発表)：25年先を見据えたキャリア教育



全日本高校模擬国連大会_公式発言ソマリア大使として